

宇宙生活の課題から暮らしのアップデートをめざす 「THINK SPACE LIFE」プラットフォームに インキュベーションパートナーとして参画

国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の運用を行う 有人宇宙システム株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:古藤俊一)は、2020年7月7日に JAXA 宇宙イノベーションパートナーシップ(J-SPARC)の一環として開始した、宇宙生活の課題から暮らしのアップデートをめざす「THINK SPACE LIFE」プラットフォームに参画します。

当社は、本プロジェクトのインキュベーションパートナーとして、国際宇宙ステーション運用(以下、ISS)や、日本人宇宙飛行士の健康管理運用の経験に基づく知見を活用したメンタリング活動や、低軌道利用民間サービス事業者とのネットワークを活かした事業検討支援をおこないます。

当社の経営理念でもある「ひとと宇宙を結ぶシステムインテグレータ」として、宇宙の開発及び利用を推進し、豊かな人類社会の実現に貢献します。

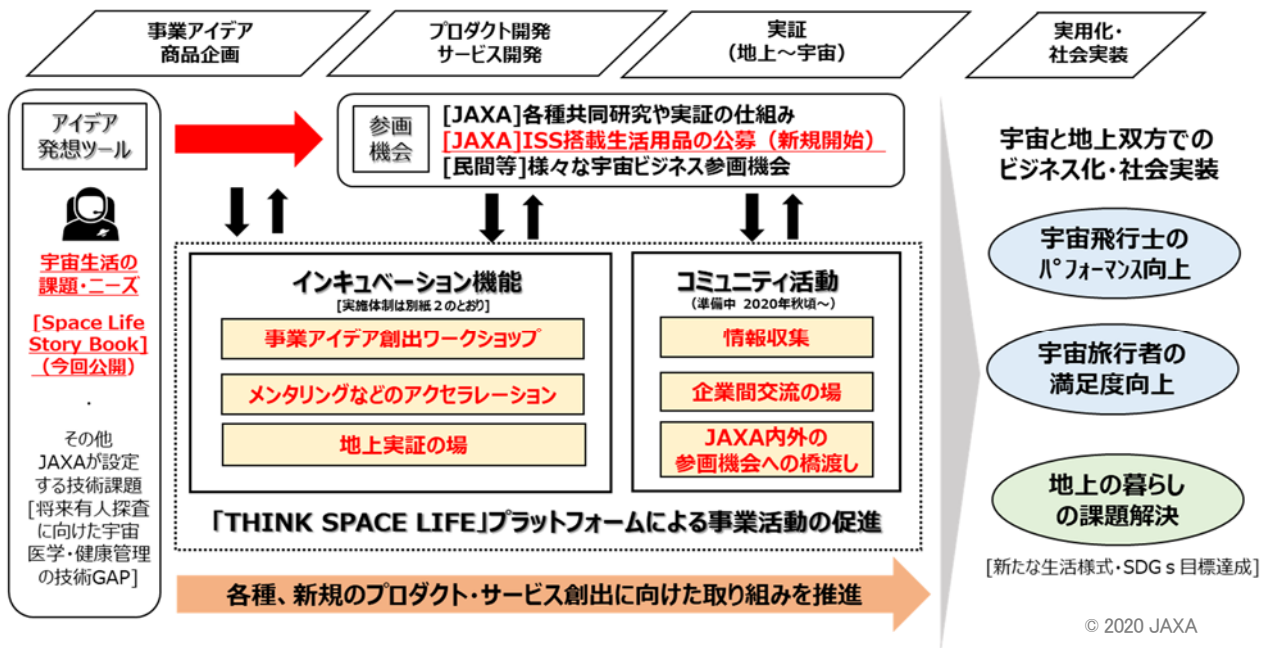


図1. 暮らしやヘルスケア分野における新たな事業創出を目指した JAXA による取り組みの全体像と「THINK SPACE LIFE」プラットフォームによる事業活動の促進(JAXA 提供)

■ 「THINK SPACE LIFE」プラットフォームのウェブサイトリンク

<https://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/j-sparc/projects/think-space-life/>

■ 有人宇宙システム(JAMSS)について

ISSは、高度400kmを周回している宇宙施設で、常時宇宙飛行士が滞在して、様々な実験を行っています。JAMSSは、ISSの一部である日本実験棟「きぼう」の地上管制業務や、「きぼう」で働く宇宙飛行士の訓練や健康管理など、「きぼう」の運用に関わる業務に携わっています。今後、宇宙利用が益々増大していく時代の中で、宇宙利用は国家プロジェクトだけではなく、民間企業も利用するフィールドになりつつあります。JAMSSは設立以来、安全性を最優先に培ってきた有人宇宙技術をさまざまな分野に提供し、宇宙利用ビジネスの最前線でチャレンジしています。



<主な展開事業>

- ・運用・利用事業：国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟の運用や技術評価、宇宙実験のトータルサポート
- ・安全・開発保証事業：国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟や人工衛星・ロケット等の安全・信頼性評価
- ・衛星利用事業：宇宙機の開発・利用・運用のトータルサポート
- ・その他：宇宙技術を活かした民間サービス(教育訓練、システム安全独立検証、営農支援)、次期有人宇宙探査

[社名] 有人宇宙システム株式会社 (JAMSS、呼称:ジャムス)

[代表者] 代表取締役社長 古藤 俊一

[所在地] 本社：東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル8F

[設立] 1990年5月14日

[URL] <https://www.jamss.co.jp/>

● 本件のお問合せは下記までお願いいたします ●

有人宇宙システム(株) 経営企画・営業部 広報担当 土佐 Tel 03-3211-2002 E-mail: jamss-koho@jamss.co.jp